

## 平成28年度奉仕活動 「ひるがの分水嶺公園」清掃作業

平成28年7月7日（木）、ひるがの観光協会と高鷲文化財保護協会、さらにひるがの分水嶺公園ボランティアの方々総勢47名が、朝8時30分までに集まり、公園の清掃活動を行いました。分水嶺公園は昼は観光客が大勢訪れるところですし、夜になるとホタルが乱舞する高鷲の宝物でもあります。

作業は、各会長の挨拶後、観光協会の直井さんから作業手順の指示がありました。文化財保護協会員は除草作業と記念碑の文字が薄くなったところを白ペンキで補修する作業を行いました。またひるがの観光協会員の方々は、公園内水路の堆積土の除去作業と除草作業をおこないました。

この日は最高気温が36度になるとテレビで報道されていまして、作業は暑さとの戦いで過酷なものでした。しかし無事作業は順調に終わり、分水嶺公園は大変美しくなりました。

各会員の皆さん 作業本当に御苦労様でした。有り難うございました。



作業前のミーティング風景



白ペンキで補修作業をする文化財保護協会員

## 秋の文化財宿泊研修は、 東大寺正倉院展を中心に大和路の秋を楽しみます。

毎年恒例になっています秋の文化財宿泊研修は、昨年とは違い、秋の大和路を散策したいと思っています。主な研修箇所は次の所です。特に見所は正倉院展です。

法隆寺（世界遺産、説明有り）、法起寺（世界遺産）、東大寺大仏殿・正倉院（世界遺産） 興福寺（世界遺産、阿修羅像見学）、奈良国立博物館（正倉院展見学、説明有り）

宿泊先は、奈良市内の「ホテルアジュール奈良」を予定しています。25人以上の

参加者で計画していますので、多数の御参加をお待ちしています。

費用は3万3千円。(予定)

日時は11月1日(火)～2日(水)(予定)

## ひるがの白山神社境内に 「宝塔」と「十字名号」が建立される

ひるがの分水嶺公園の清掃作業の後、平成28年7月3日に建立供養がされた「宝塔」と「十字名号」の各碑を見学した。これらの碑は、かつてひるがの高原の高鷲村と荘川村との境にありましたが、ひるがの開発とともに忘れ去られ、本会会員の上村富夫氏が発見し、氏の努力でひるがの白山神社境内に再建されました。「宝塔」の裏面には満州開拓移民送出に尽力を注がれた野村禎太郎氏の文章が有り、また「十字名号」の裏面にはひるがの開発の歴史が刻まれています。是非、ひるがのへお越しの節はこれらの碑文をご覧ください。



宝塔前で説明する上村氏

## たかす開拓記念館清掃作業については、毎月一回婦人ボランティアで行っています。

たかす開拓記念館が開館してから3カ月が過ぎました。毎日10人以上の来場者があり、大変盛況です。盆休みには土曜日や日曜日にも開館する予定だそうです。案内を植村さんや、高鷲町文化財保護協会の役員が担当し、より内容の濃い開拓記念館にしたいと思っています。また、この開拓記念館が長野県の阿智村満蒙平和開拓記念館や東京新宿の満蒙開拓祈念館と同様に全国に誇れる記念館にしたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。

さらに、ご来場の皆様方に良い環境で展示物をご覧頂くために「たかす開拓記念館」の清掃作業を高鷲町文化財保護協会員の婦人ボランティアの方々から清掃奉仕の申出がありました。本会としてはこの奉仕活動を応援していきたいと思えます。

婦人ボランティア活動に御参加頂ける方は、奉仕委員長 和田和美さんまでご連絡ください。

次回の清掃作業は、8月5日(金)午前8時30分からです。